

# 長野市公文書館便り



●発行日：平成 30年(2018)1月 日 ●発行：長野市公文書館

## 松田館火災に伴う文化財の救出作業に協力

昨年9月6日におきた長野県宝松田館(千曲市)の火災で被災した資料のレスキューに公文書館専門主事の4人が2日間2人ずつ参加しました。すすだらけになった資料や、消火の時に水浸しになった資料を1枚ずついねいに剥がし、汚れを除き、乾かしました。資料は膨大にあるので、県を中心に作業は長期間にわたり行われます。



運びこまれた資料を黙々と整理

すすまみれの資料

これ 日々是文書 ~スタッフ通信~

### 【公開資料】

・「戸隠村役場2」(旧役場文書859点)

### 【活動記録】

- ・9/26 古里公民館、公文書館見学
- ・9/27.29 松田館火災に伴う文化財救出作業協力
- ・9/28 みどりの見学、公文書館見学
- ・9/29.10/12.11/16 安茂里公民館出張講座
- ・10/20 川中島老人クラブ、公文書館見学
- ・10/26 長野県史料保存活用連絡協議会出席
- ・11/9.10 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会出席(相模原市)
- ・11/16 長野市立長野高等学校出張講座
- ・11/21 小田切公民館出張講座
- ・12/13 城山公民館出張講座



今年度実施したバックヤード見学ツアーの様子をパネル展で紹介しました。5団体100の方が見学されました。

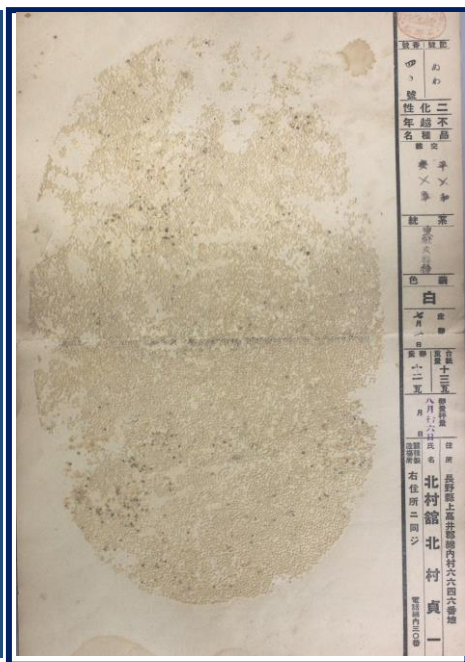
「公文書館資料で振り返る市町村の歩みと暮らし」  
-長野市民新聞で第2・4土曜日大人気掲載中！-

こんなときにはご相談ください。

- ☆古い土蔵などを取り壊すので、古文書や古い写真等の所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ☆所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。

## 古文書紹介

除塵作業をしていたら、蚕の卵がびっしりついた蚕紙を発見したようです。蚕の重さ、色、産卵日等が記載されていて、この紙で売売されて...



整理が済み次第公開の予定です。。。

## 長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)  
 電話 026-232-8050 F A X 026-232-8051  
 H P http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/  
 又は **長野市公文書館** で検索  
 E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp  
 開館時間 午前9時~午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)  
 休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日  
 年末年始(12月29日~1月3日)

## 平成29年度 長野市公文書館講演会 平成29年10月15日

### 「ふるさとのアーカイブ 長野の社寺建築と彫刻」

講演1「宮大工と社寺建築」宮澤 政太 氏  
 講演2「宮彫師・山寄儀作」草間 律 氏

今年度の講演会では、二つの新しい試みがありました。メインテーマ「ふるさとのアーカイブ」のもと、一つは長野の社寺建築と彫刻について宮澤氏と草間氏お二人にお話しいただいたこと、もう一つは、講演終了後に、座談会を設定したことです。気温が下がり、落ち葉が渦巻いて舞い上がるようなあいにくの天候にもかかわらず、熱心な方々の参加をいただきました。

宮澤氏は、宮大工の仕事に関して、①設計図と仕様書、②木材の加工位置を決める「規矩術」と寸法を決める「木割」、③組物と枯木において垂木の役割の変化、④社寺建築の彫刻、⑤宮大工と宮彫師の分業と交流について話されました。特に⑤では、宮彫師は棟札などに氏名が記されないことがあり誰であるか特定が難しい中、確認できた例として彫師金井清吉をあげ、大工宮澤亀之助との二人の協力により善光寺の仕事が成されたこと、金井清吉は、草間氏の講演に登場する宮彫師山寄儀作の弟子であったことなどを紹介されました。

宮澤氏は、建築が専門で、所蔵する社寺の図面や仕様書、写真、江戸時代の宮大工必携の解説書等を基に具体的にお話しくださいました。

草間氏は、宮彫師・山寄儀作(天保2年~明治31年、1831~1898)について話されました。長野市を中心にあくさんの作品を残している儀作は、荒木(長野市中御所)に大工篠原長吉の次男として出生。赤沼(長野市長沼)の初代武田常蔵(ときぞう)に師事して、木彫と建築を修業しています。(常蔵の師匠は彫工三家の一つ石川流の三代目豊光です。豊光には、日本のミケランジェロと評された石川雲蝶も学んでいます。)儀作も江戸で石川流の木彫を学び、その後妻科(長野市南長野)の山寄家に婿入りし、多くの木彫作品を残しました。

儀作が生きた時代の中で節目となる出来事として、①善光寺地震(1847 16歳)で多くの寺院が損壊・焼失し、再建のため宮大工の需要が高まる。②大政奉還(1867 36歳)と③神仏分離令(1868 37歳)で、廃仏毀釈運動がおこり、宮大工の仕事が減り屋台の制作へ移る。④長野の大火(1895 64歳)で、社寺再建が盛んに行われる。⑤日清戦争(1894~95 64歳)による戦勝ムードで祭りの屋台制作が多くなったなどをあげ、社寺・屋台・神楽など撮影された写真を示してお話しくださいました。

北信濃は彫刻の宝庫であり、見てすごいと感じるだけでなく、絵解きのようにその意味を考えることで当時の風俗や考え方に触れてほしい、儀作の彫刻の技の高さや質の評価を知ってほしいと力説されていました。

座談会では、当館西澤専門主事より当公文書館の成立と運営方針についての紹介の後、お二人からは研究者としての立場から、①公文書館利用のきっかけ、②公文書館の良さ、③公文書館のあり方・希望などについてお話いただきました。



左から草間氏、宮澤氏、西澤専門主事

# 平成 29 年度パネル展 「市制 120 周年に寄せて 長野市の歩みとひろがり」

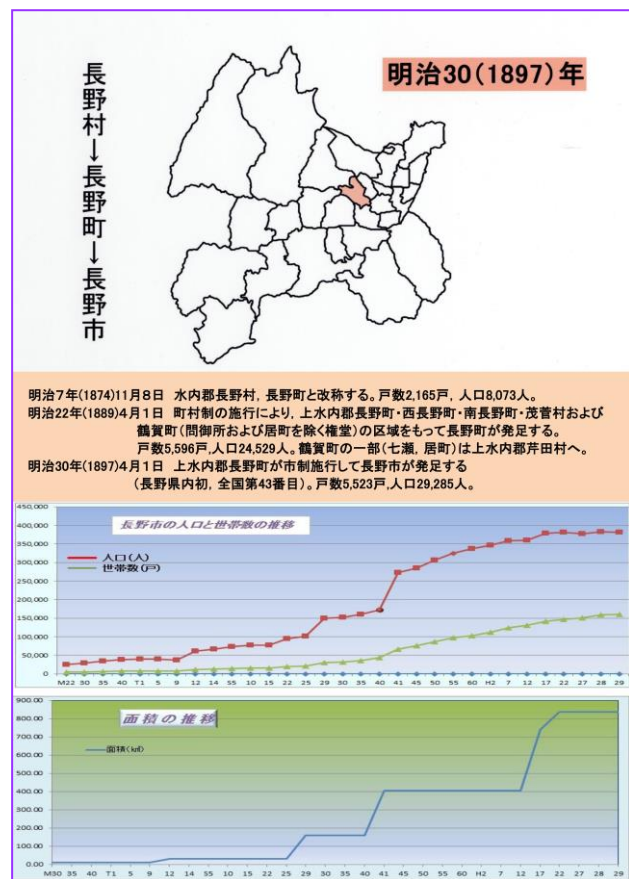
10月6日(金)~22日(日)

今年度、長野市は市制 120 周年にあたります。昨年 4 月 28 日、長野市芸術館で記念式典を行いました。その際、当館の資料をもとに作成した年表「長野市 120 年の歩み」を展示しました。今回のパネル展では、「長野市 120 年の歩み」をさらに多くの皆さんに見ていただけるようこのたび新しく作ったパネルを加えて展示しました。長野市は、明治 30 年 (1897) 市制施行以降、大正 12 年 (1923) 1 町 3 村と、昭和 29 年 (1954) 10 村と、昭和 41 年 (1966) 1 市 3 町 3 村と、平成 17 年 (2005) 1 町 3 村と、平成 22 年 (2010) 1 町 1 村と合併を重ねてきました。それぞれの合併した各市町村の位置を明示した地図や合併時の様子が分かる行政刊行物等や合併した市町村がそれまでに作成した誌史等を一堂に集めた展示も行いました。

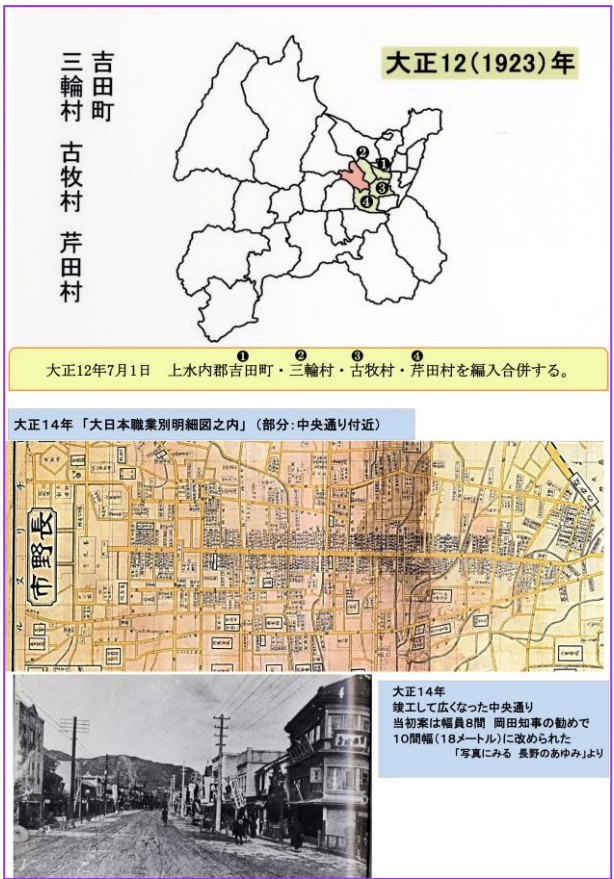
- 年表「長野市 120 年の歩み」の展示
- 合併した各市町村で作成された誌史等の展示
- 大勢の人でにぎわったパネル展



■長野市の合併の歩みと各市町村の位置 (作成したパネルより)



最初の市長は、佐藤八郎右衛門さんでした。



②大正 12 年 (1923) 合併の町村  
長野大通りが拡幅され、長野電鉄が開通しました。



③昭和 29 年 (1954) 合併の村  
この合併による市域を「旧長野市」と言うことがあります。



⑤平成 17 年 (2005) 合併の町村  
「平成の大合併」では、北西部と南部に大きく広がり、面積が 1.8 倍となりました。

「門前商家ちよつ蔵おいらい館」にて、同パネルを展示します。是非、お越しください。  
期日 一月三十日(火)~二月二十五日(日)午前九時~午後五時 (二月五日・十三日・十九日は休館)



④昭和 41 年 (1966) 合併の市町村  
この合併により面積 404 km<sup>2</sup>、人口 27 万余人の「大長野市」が誕生しました。



⑥平成 22 年 (2010) 合併の町村  
こうして面積約 834 km<sup>2</sup>、人口 39 万人近い長野市になりました。